

事業計画書

令和2年度

施設名 本牧地区センター

指定管理者 株式会社 清光社

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市環境対策に対する取組みについて

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

(6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について

2 自主事業に関すること

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

(1) 施設の管理運営について

平成 31 年度の基本理念を踏襲しながら、新しい取り組みを実施します。

① 基本理念について

当社は、市や区のパートナーの指定管理者として、「横浜市地区センター条例」の設置目的や「中区区政運営方針(平成 31 年度)」等の関連施策を理解し、施設機能を十分理解した上で、区民の信頼にこたえられるよう、地区センターの設置目的と区政運営方針への貢献に向けた管理運営を行います。

昨今、少子高齢化や地域交流の希薄化等の様々な問題が顕在化しており、一人ひとりが安全にいきいきと健康的に暮らすことやまちの魅力を発見・発信し、次代を担う世代に継承していくことが重要になってきています。

地区センターは「住民の福祉を増進する施設」「住民の利用に供するための施設」であり「住民サービスを行うための主要な手段」であることを念頭に置いて、公平公正な管理を軸とし、事業の効率性及び利用者サービスの向上を目指します。

② 予算の執行について

平成 31 年度の遂行状況をレビューし、予算計画の見直しと適正化を図り、「年間収支計画」を策定し、指定管理経費の変動に耐えられるコスト管理を実施します。特に労働コストや消費者物価の上昇等が令和 2 年度も見込まれることから、支出増に対する管理を徹底し、収入と支出のバランス管理を迅速に行うことにより、ただ単に経費を削減するだけでなく、利用者サービス向上につながる経費に関しては適切な費用をかけつつも、効率的な取組を行い、それ以外の経費に関しては弊社のスケールメリットを活かして積極的に削減するよう取組ます。

③ サービスのあり方について

利用者サービスとは、利用者ニーズに応えることで向上するものでありますが、利用者数に反映しなければ、実施した労力が意味をなさないものになってしまいます。**①研修を通じたスタッフの接遇レベルの向上②各種マニュアルに基づいた公平なサービスの提供③適時適切な情報発信(Web、広報媒体の活用等)を推進します。**利用者サービスを実施する場合には、利用者ニーズを的確に把握し、入念な実施計画を作成し実行します。

1 施設管理に関する基本方針

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

① 地域の特徴、地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方

当施設周辺地区においては、老年人口が一貫して増加傾向にあると同時に、若い世代や子育て世代を含む、比較的新しい住民が多く居住されており、そうした住民の施設利用が今後増加することが想定されます。このような地域特性の中で、地域の絆や、つながりを醸成して地域を活性化するために、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした、住民の相互交流を生み出す自主事業やサービス提供が求められます。ゆえに、当センターでは、誰もが気軽に楽しみ相互交流を生み出せる「情報交流型活動拠点」としての機能を充実させるとともに、ユニバーサルサービスの導入等で誰もが利用しやすい施設環境、安全面を確保します。

さらに、当地域の歴史・文化的な資源であり、緑の拠点でもある三溪園や本牧山頂公園、横浜市八聖殿郷土資料館、コミュニティハウス、地域ケアプラザ等と連携した世代間交流事業が望まれていることは、この地区ならではの特性であり、これまでも地域諸団体と連携し事業構築にあたってきました。その他、「環境」や「防犯対策」等に住民の関心が寄せられています。これらの地域特性やニーズを着実に汲み取り、施設運営にあたります。

なお、地域ニーズは毎年変わる可能性がありますので、利用者との会話やアンケート等を継続的に実施します。また、当社のスタッフ全員が地域住人のため、日常生活で感じる課題等を引続き収集し、当施設の管理運営に反映していきます。

② 併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携

中図書館やオリブ工房他公共施設や公共で主催されるイベントに参加し、レクリエーション活動を実施することにより、地区センターの事業に興味を持っていただくように交流事業を実施します。また、本牧地区センターを拠点とする団体が実施するアウトリーチ活動を支援することで、広域的な地域コミュニティを創出します。

災害時には、中図書館やオリブ工房と連動した避難誘導等が実施できるように、防災訓練を共同で実施し、有事に備えます。

③ 事業展開への反映

地区センターが主体的に企画立案するだけでなく、地域イベント(まつり)等に積極的に参加し、最大の効果が得られるように推進します。

1 施設管理に関する基本方針

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

① サービス提供に関する基本的な考え方

利用者サービスは、利用者ニーズに応えることで向上するものでありますが、利用者数に反映しなければ、実施した労力が意味をなさないものになってしまいます。的確な利用者ニーズの把握を行うとともに、入念な実施計画を作成し、サービス向上に努めます。

② 施設の利用に関する取扱いについて

地区センター業務全体を利用者の視点に立って分析し、「公平公正の観点」及び「人権への配慮」等の複数の事象を考慮して、事業の効率化を図ります。優先枠や減免については、条例・規則・利用要綱に則り、運用いたします。対象とならない申請は、ルールとその意義を十分に説明し理解を求めます。

また、営利目的、設置目的に反する利用については、的確な説明を行い、理解をしていただいた上で利用の制限を行います。

③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

相談が家族のようにできる「暖かい空間」、高齢者や障がい者が安心して利用していただくために、職員・スタッフの社内外講習・資格取得支援・多様な施設間交流講習に積極的に参加し、サービス向上に努めます。

また、地域住民のニーズに対応した自主事業を企画・実施することにより、新たなコミュニティ創造に貢献します。このため、年度初めに計画した自主事業を、その時点でのニーズに対応するために適宜変更することで、より利用者ニーズに近づけるよう柔軟に対応します。

④ ご意見、苦情及び情報公開の取り扱いについて

利用者のご意見・ご要望を多方面で受け取り、真摯に改善・反映します。利用者ニーズを正確に把握するために、様々な場所・時間そして人から数多くのご要望をお聞きし、収集した情報を分析・評価・検討することにより、あらゆる角度から実現の可能性を模索し、具現化する体制を構築いたします。

情報公開については、横浜市情報公開制度に即した「本牧地区センター個人情報保護マニュアル」を作成し、広く情報公開を行います。また、情報開示請求があった場合には、横浜市の情報公開規程に則り、「本人・代理人確認」、「開示等受付報告書」による受付、「要求事項への可否審査」等を確実に実施し、個人情報の取り扱いを厳重に行います。なお、利用案内・利用要綱・事業計画・事業報告書等は、地区センター窓口、ホームページ等で、常時、閲覧が可能な状態にします。

1 施設管理に関する基本方針

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

(4) 施設の経営に関する基本方針について

① 本年度の運営に関する基本方針について

利用率向上に伴う利用料金収入を基本とし、新たなサービスを企画・実施します。幅広い事業展開を行うとともに、地区センター管理運営方針に即した魅力ある自主事業及びイベント等を開催いたします。

- 地域住民の自主的活動および相互交流を深める場としてのサービスを提供します。
- 公平公正な管理と利用者サービスの向上を図ります。
- 自治体、地域諸施設、自治会、学校他と連携し、社会貢献活動に積極的に取り組みます。
- 誰もが参加しやすい自主事業を実施します。
- 本年度は建築局による体育室の天井改修工事並びに空調設備設置工事が予定されていることから、利用料金が減収となる見込みです。従来以上にコストの見直しを行い効率的な運営を行います。

② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について

5つのマネジメントシステム【ISO9001 品質マネジメントシステム】【ISO14001 環境マネジメントシステム】【OHSAS18001 労働安全マネジメントシステム】【ISO/IEC27001 情報セキュリティマネジメントシステム】【JISQ15001（個人情報保護マネジメントシステム）】の手法とPDCAを活用し、継続的な業務改善実施と管理運営業務の効率化・効果の最大化を図ります。

経費節減については、総合ビルメンテナンス業及び指定管理業務の経験を生かし、ハード及びソフトの両面から計画的にコストの縮減を行います。また、他の地区センターや類似施設のベンチマーキングにより、有効な手段を取り入れ、コスト削減を促進する体制を継続します。

③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

環境保全の取り組みとして、「地球環境の保全」という大きな視野に立って対応して参ります。『緑のカーテンの設置』等を推進いたします。

年間指定管理経費に余剰金が発生した場合は、老朽化設備・備品の更新を積極的に行い、利用者が快適に施設を利用できる環境を整備いたします。さらに弊社が管理する指定管理施設と同様に余剰金の一部を、慈善活動としての寄附又は横浜市の緑化団体等(横浜市協働の森基金、横浜サポーターズ寄附金、横浜市市民活動推進基金等)に寄附し、地域環境の改善に貢献します。

1 施設管理に関する基本方針

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

① 職員の配置及び採用について

令和2年度の職員配置については、令和元年度の体制を継続します。また職員の雇用については、ボランティア活動に興味のある地域の方の中から弊社の理念及び提案内容にご理解いただける方を採用いたします。採用活動は広報により公募を行い、欠員中は公の施設管理経験がある本社職員又は地区センター就業経験5年以上の職員を配置し、業務に支障をきたさない管理運営を行います。

職員配置

館長	: 1名
副館長	: 2名
コミュニティスタッフ	: 12名
クリーンスタッフ	: 2名

② 職員の研修計画について

利用者が悩みや勉強等の相談が家族のようにできる「暖かい空間」、高齢者や障がい者が安心して利用できるように、社内外講習・資格取得支援・多様な施設間交流講習に積極的に参加し、その効果測定を実施するとともに、参加できなかった職員・スタッフへ研修内容の共有化を行います。研修は休館日に実施し、職員全員が参加できる勤務体制を継続します。

③ 個人情報の保護の措置について

「個人情報取扱事業者」として「個人情報保護に関する法律」および「横浜市個人情報の保護に関する条例」を遵守し、個人情報を適正に取扱います。また、守秘義務に関しても職員への周知・徹底を継続します。

「本牧地区センター個人情報取扱マニュアル」の職員への周知徹底と定期的な見直し・改善を行い、個人情報保護を徹底します。

館長を個人情報保護責任者とした上で、取扱担当者を決定し、個人情報の保管期間、保管方法、および消去方法等の措置について、館長から取り扱い担当者に指示します。また、内部監査員による抜き打ちチェックを実施し、管理の徹底を図ります。

さらに、清光社として「ISO/IEC27001 情報セキュリティマネジメントシステム」を認証取得し、本牧地区センターを適用事業所としていますので、第三者機関による監査等、機密情報の取扱に関する社内体制を継続します。

1 施設管理に関する基本方針

(6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

(6) 緊急時対策について

① 防犯、防災の対応について

施設の管理運営においては、施設利用者の事故や施設内での不審者・不審物等の発見、自然災害発生による被害等、さまざまな緊急事態が想定されます。

当施設は不特定多数の方が利用する施設のため、施設内外のリスクの洗い出しや日常巡回の徹底等により事故・犯罪等の発生予防につなげます。施設設備の故障に関しては、定期点検と日常点検による早期発見に努力し、施設管理者である中図書館と連携して早期解決を図ります。具体的には以下のとおりです。

- 職員による1日3回以上(開館時・開館中・閉館時)の施設内外の見回りや、6S活動を引続き推進します。
- 巡回時はチェック表を活用し、設備故障、利用者の事故、不審者等の早期発見に努めます。
- 忘れ物や盗難等にも注意を払い、注意喚起の掲示を行います。
- 巡回中に設備等の故障を発見した時は利用者への危険性に応じて迅速に補修や安全対策を行います。
- 施設巡回や点検・清掃作業時に気づいた点は、毎日の業務日報や「危険源改善箇所申告書」に記載し、早期改善を図ります。

② その他緊急時の対応について

(ア) 初動対応

利用者の安否確認と避難・誘導による安全確保を実施するとともに、横浜市及び中区担当窓口への連絡、災害時のレベルに準拠し指定管理者職員および勤務時間外職員の招集を行い、救援活動拠点機能を確保します。

(イ) 二次災害の防止

建物・構築物の倒壊防止、火災・延焼の防止とともに、危険が周囲に及ぶ可能性のある場合には、周辺住民への危険周知や避難の要請、行政当局や外部技術者等への連絡およびそれらと連携した対応を実施します。

(ウ) 災害時における協力体制

現在本牧地区センターは、横浜市内に地震、風水害、その他の災害などが発生した、または発生する事が予測される場合に、補充的避難場所を開設及び運営し、災害時に、区民、在学在勤者等の安全確保、生活復興等の応急対策を迅速に推進する為、市・区より協力要請を受けた場合は対応できる体制を構築します。

1 施設管理に関する基本方針

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について

(7) 施設の保全について

施設維持管理の主体者である中図書館と連携し、緻密な業務計画を策定・実施します。また、詳細な記録及び調査を行い、確実な業務改善を実施します。

① 建物・設備等の保守点検について

不具合箇所の早期発見・早期補修により設備機器の長寿命化・エネルギーコストの削減を実施します。また、日常点検時・定期点検時において発見された不具合については、不具合状況をデータ化するとともに、必ず臨時補修を施し、安全性を確保いたします。

なお、機器の安全性・経済性を考慮した結果、建築物並びに機器の更新が必要な場合には、中区地域振興課並びに施設管理者である中図書館のご担当者と協議を行います。

② 清掃業務について

常に快適な状態を確保できるよう、6Sを徹底するとともに、乳幼児や高齢者、障がい者の視点に立って施設内を点検し、清掃管理の改善を行います。日常清掃を実施することで、衛生美観の長期維持を図ります。トイレ等は特に、伝染病等の感染リスク低減のため除菌清掃の徹底を図ります。インフルエンザやノロウイルス感染の原因になる嘔吐物に関しては、迅速に処理を行い、拡大を防止するとともに、流行時には希釈した塩素系溶液にて清掃を行い拡大予防に努めます。入口でのアルコール消毒液の常設を継続します。

2 自主事業に関すること

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

① 自主事業について

地域特性や地域ニーズにあるように、「子どもから高齢者までの幅広い世代を対象とした事業の提供」や「地域子育て支援の充実」、「相互交流の創出」等を反映した事業を引続き企画・実行します。参加者アンケートの要望やその他ニーズを意識した講座を実施します。引続き、本牧さくらまつり、本牧かぼちゃまつり、なか区ブックフェスタをはじめとする様々なイベントに参加し、地域や近隣施設と連携します。

② 自主事業の運営方法について

地域住民の自主的活動の援助及び新たな地域コミュニティの創造、地域住民の相互交流、地域課題の解決を目的として開催し、講師はできるかぎり地元に住む方をお願いをいたします。また、連携団体と協力することにより、小額の参加費で魅力ある自主事業を計画し、年齢・性別を考慮した幅広い層が参加できるよう実施いたします。

③ PRの強化について

近隣施設へ出張し実施するアウトリーチ活動や地域住民・連携団体と協働で、「きっかけは本牧地区センターから さあ始めよう」を合言葉に、地区センターから社会貢献活動を展開することにより、本牧地区センターの事業をアピールしていきます。また、本牧地区センター専用のホームページを活用し、広く地区センターをアピールします。具体的施策としては以下の通りです。

- 地区センターだよりの発行を継続します。
- ホームページで利用者団体を紹介することで、ホームページの閲覧頻度を向上させ、サークル活動への参加促進や本牧地区センター利用の誘導を行います。
- 地元紙をはじめ、各種媒体に事業活動内容の掲載依頼（ブリーフィング）を実施します。
- ホームページのお知らせを効果的に使用し、本牧地区センターや地域の情報掲載を増やすことで、地域との連携を強化します。
- 自主事業実施後のアンケート調査の実施
自主事業実施後は、アンケート調査を実施し、参加者ニーズの合致、実施内容の精度等を検証し、改善を図って参ります。

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

(目標 稼働率 39.5%)

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

(目標 利用料金収入 3,186,000 円) ※体育室工事のため約 9 ヶ月分の減収見込み

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

令和2年度は、体育室の天井及び空調機設置のための改修工事が長期にわたり行われるため、稼働率の低下が予想されます。自主事業の地区センターでの実施回数を増やすことで稼働率の向上を目指します。目標稼働率:39.5% (注)

(注)体育室、工芸室の未使用期間を算出の母集団に組み入れない場合は 56%

また、自主事業の事後グループの形成・アウトリーチ活動の助成などの環境作り、利用者が主体となる活動を応援していくことで、稼働率向上に引き続き取り組みます。同時に稼働率の低い料理室利用の講座を強化・推進してまいります。

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

令和2年度利用料金収入目標 3,186,000 円を目指します。

(3) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

提案内容を精査し、目標達成を意識した進捗管理を行います。利用要綱が変更になる案件に関しては、地区センター委員会及び利用者会議に諮り、計画を推進いたします。

① 地区センターまつりの実施時期の変更

令和 2 年度は、横浜市主導で体育室の改修工事(天上改修、冷暖房設備新設)が行われ、当初の時季に開催できないため、時季を変更して開催します。ただし、工事の進捗状況を考慮し、また、他の施設との連携を考慮して設定いたします。

② Wi-Fi 接続方法変更による利便性の向上

プロバイダによる Wi-Fi 環境の充実を図り、個別学習や東京オリンピックの視聴が容易になるよう設備の見直しを図ります。また、利用年齢を制限していましたが、幅広い年齢層に利用していただけるようサービスを拡充します。

③ 救急救命訓練の継続実施

災害・減災対策の一環として、横浜市消防局指導で職員及びスタッフ全員が「救急救命講習」を受講し、初級の救急救命のスキルを習得しました。令和 2 年度も継続的に技術の向上を図ります。また、途中入社し未受講の職員・スタッフも計画的に受講を行い、全員が緊急時の対応ができる体制を維持します。


以上


横浜市本牧地区センター自主事業別計画書（単表）


団体名


株式会社清光社


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
伝統伝承プログラム ・茶道教室 ・書道教室 ・詩吟	【目的】 生活の中に根づいていながら、その成り立ちを知らず、ただ形だけになっている日本の文化・伝統が沢山あります。伝統文化を改めて基礎から学んでいきます。 	4月～6月
	【内容】 ・初めてのお茶：立ち居振る舞いやお茶の作法を通じて、和室の良さを感じて頂きます。日常では感じる事の出来ない緊張感の中、礼儀・相手を気遣う心を学びます。 ・バランスとれた美しい字を書きましょう：小筆で年賀状など。 ・令和を謡う：万葉集から。	生涯学習 文化伝承 継続事業
マネ講座 ・Let'sマネサイズ ・親子マネ講座 ・税務相談	【目的】 市民が知識を身につけて、豊かな暮らしを営むことを応援します。お金の知識を得てお金（マネ）に関して練習（エクササイズ）しましょう。成人向け・親子向け（お小遣い）・子ども向け（お金の大切さ）対象年代別に企画。 	4月～3月
	【内容】 お金についての便利な情報や税務について 分かり易く情報提供や学ぶきっかけ作りを各講座で実施。	シニア支援 子育て支援 継続事業
新企画 本牧ノスタルジア	【目的】 本牧の歴史を紐解くことにより、自らの地域の属性や課題を知って、街作り等に生かしていきます。共に学ぶことによって地域住民の交流も図ります。 	4月～1月
	【内容】 編集者の視点と郷土資料館の貴重な資料を基に地域の歴史・魅力を再確認します。	異世代交流 地域交流 生涯学習
新企画 デイリーストレ麻雀	【目的】 麻雀を通じて脳の活性化（脳トレ）と健康と生き甲斐づくり・仲間づくり。事後ケアも目指します。 	4月～
	【内容】 4月から全10回女性初心者からスタート。牌の種類や名称・ゲームについて・牌の組み合わせ等 丁寧に繰り返しのプログラム。相手の出方を推理したり、手や指を動かすことで脳の活性を促します。	地域交流 シニア支援 生涯学習


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
手芸各講座	<p>【目的】 手間暇かけて作り上げる手作りの良さ・楽しさを再確認。新しい発見を提供します。様々な物作りを通じて共通の趣味を持つ方の仲間づくり。サークル設立の誘導も行います。</p> 	<p>通年</p>
	<p>【内容】 キルト・エコ手芸（古布・着物地）で、実用品や季節を彩る飾り等を作ります。連続講座も実施し、物作りを通じて地域の仲間作りの一端を担います。</p>	<p>継続事業 地域交流 シニア支援 生涯学習</p>


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
料理教室各講座	<p>【目的】 料理のレパートリーや知識を増やす。仲間を増やす。健康な身体作りを目指す。調理室利用の活用・周知を含め様々なテーマで料理教室を実施します。</p> 	<p>通年</p>
	<p>【内容】 老いない身体を作る四季の薬膳、入門薬膳・みゆき先生の料理教室・粉こね倶楽部（くらぶ）・男の料理教室、また国際交流や健康を重視した料理教室も実施します。</p>	<p>健康増進 地域交流 異世代交流 シニア支援 継続事業</p>


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
東京2020パラ 応援企画	<p>【目的】 パラリンピック開催に合わせ、大会ムードを盛り上げる企画します。</p> 	<p>4月～7月</p>
	<p>【内容】 体験ボッチャや昨年に引き続き大会応援ソング「パプリカ」を踊ろう等を実施します。</p>	<p>健康増進 地域交流 青少年育成</p>


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援 各講座	<p>【目的】 出産前後の不安・子育てに関する様々な悩み等、不安を取り除き、少子化対策の一助となるよう務めます。親子で楽しむ時間を共有するとともに、未就学児の保護者同士の交流の場を提供します。</p> 	<p>通年</p>
	<p>【内容】 子育て相談を始め、リトミックや、ママ向けのフィットネス・歯科衛生指導等 季節のイベントを含め様々な事業を行います。子育て中の保護者が事業に参加する一助として地域の保育グループに見守り保育も検討します。</p>	<p>地域交流 継続事業 子育て支援</p>


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ヴォイストレーニング	<p>【目的】健康と深い関わりがある発声。喉に負担をかけずに通る声を出すコツをプロの声楽家から学びます。意識を少し向けてあげることで、ストレス解消をはじめとして、脳の活性化や認知症予防や健康増進を目指します。</p> 	通年
	<p>【内容】月3回の定期的なヴォイストレーニングに加え、テーマ（目的別：歌を唄う・語り・読み聞かせ等）に沿ったプログラムの講座も取り組みます。</p>	シニア支援 継続事業 健康増進


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康づくり体操各講座	<p>【目的】無理なく今ある筋力を維持する。毎日を健やかに過ごす・健康寿命を延ばすための運動を中心に各講座を実施します。事後サークル支援を目的とした体験講座も実施します。</p> 	通年
	<p>【内容】基礎体力を付ける・コアの筋肉を鍛える。運動習慣の無い方に興味を持って頂ける様な講座やゆる体操・元気ダンス・シニアフィットネスといった事後サークルを紹介する支援講座も行います。</p>	シニア支援 健康増進 地域交流


事業名	目的・内容等	実施時期・回数
横浜みどりアップ計画 「森に親しむきっかけ作り」	<p>【目的】市民が森に親しむきっかけ作り 緑・まち・未来を考えるきっかけを様々な企画で提案します。</p> 	5月～12月
	<p>【内容】施設にとっても近隣住民にとっても一番身近な森である山頂公園での「森林カ」 「焼き芋焼けた」での工作など。今年度は横浜市民の水瓶 道志村を訪ねます。</p>	緑化事業 地域交流 環境保全事業 わんぱく事業 異世代交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
成人向け教養等各講座	<p>【目的】生きがい作りを目的として企画します。興味があったが学ぶ機会が無かった方などに向けてお仲間づくりや学ぶ楽しみ、何かを始めるきっかけ作りを提供します。</p> 	通年
	<p>【内容】「古典文学に親しむ」「ペン習字」「お片付けセミナー」「絵画」「寄せ植え」「国際交流」等々 座学を中心に利用者アンケートからの要望を生かし実施します。</p>	緑化事業 生涯学習 地域交流 シニア支援 異世代交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
幼児から小学生 向け各講座	<p>【目的】親子参加型を含め、家庭や学校で体験出来ないような事業づくりを心がけ、夏休み期間を中心に身近な素材を使い科学の力で不思議を探るサイエンス講座や料理教室・物作りの講座を実施します。</p> 	7月～8月
	<p>【内容】アイスクリーム作り、パンやピザ作りの調理室活用の講座。マジック・国際交流等 各種事業で夏休みの宿題の手助けも。また様々な体験で夏の思い出になる一時を過ごします。</p>	食育 わんぱく事業 青少年育成

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
本牧地区センター まつり	<p>【目的】隣接のクラブ工房と同日開催。施設を開放し、団体・個人の多くの方々に秋の一日を楽しんで頂きます。新しい出会いや発見の場を提供します。</p> 	11月 1回
	<p>【内容】利用団体の発表の場としてステージや展示コーナー。来館者の方に向けて「被災地支援物販・フリーマーケット」での買い物。「魚釣りや輪投げ」「バルーンアートやマジックショー」のワークショップを行います。</p>	地域交流 シニア支援 異世代交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
防災・減災 いざという時に備えて	<p>【目的】備えあれば憂いなし！防災意識の啓発。災害時における自助及び共助の推進に関する条例に協調して住民の防災意識を高める講座を実施します。</p> 	9.1.3月 3回
	<p>【内容】AEDの取り扱い方。身近な風呂敷・ストック食材等の防災時の活用。いざという時に慌てず対応できるように防災術を学び日常生活の意識を高めます。</p>	社会貢献 地域交流 異世代交流

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
活動団体・地域 施設連携協力 事業 作品展示 (ロビーショーケース・ビ ロイショーケース・館外 施設等：文化祭)	<p>【目的】来館者の皆さんに楽しんで頂ける様1ヵ月毎に展示を替えています。季節感・イベント感を盛り上げる飾り付けを行います。利用団体や近隣小学生の絵画の発表の場として活用します。</p> 	通年
	<p>【内容】七夕（短冊に願いを込めて）やハロウィン・クリスマスなど季節の行事に合わせ館内の装飾。利用団体・近隣小学校にも協力頂き作品を展示します。令和2年度は近隣施設と合同で商業スペース（オープンスペース）での発表会（文化祭を予定）</p>	シニア支援 継続事業 社会貢献 地域交流 青少年育成

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
活動団体協力事業 コンサート	【目的】 住民の方に向けて日頃の活動の成果発表の場を共催事業として提供。定期開催で住民の方々にも好評です。	7月・12月
	【内容】 音楽室での夕涼みコンサート・体育室でのウインターコンサート。身近な会場で気軽に本格的な音楽を愉しんで頂き地域交流の一端を担います。	
		継続事業
		社会貢献
		地域交流
		青少年育成

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
活動団体協力事業 おもちゃの病院	【目的】 物（おもちゃ）の仕組みを知ることや物作りの素晴らしさ難しさを理解し、物を大切に作る心を育みます。	通年
	【内容】 「中区おもちゃのドクターネットワーク」の皆さんに協力頂き、ドクターが、壊れたおもちゃを修理。壊れた原因や質問にも対応。	
		継続事業
		社会貢献
		シニア支援
		青少年育成

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
活動団体協力事業 おはなし会	【目的】 絵本を通じて親子や人のつながりづくりを支援します。絵本等の読み聞かせによって子どもたちの心の育成。想像力や創造力を養います。自主事業「読み聞かせ養成講座」受講修了者「本もく座」の活動発表の場でもあります。	通年
	【内容】 「本もく座」によるおはなし会。日本古来の行事・暦（七夕・十五夜・節分・桃の節句・端午の節句）をテーマとした絵本の紹介や読み聞かせ・紙芝居・歌（童謡）や「えほんの森」によるプレイルームでの絵本の読み聞かせ・わらべ歌等「こぐまの部屋」も実施します。	
		継続事業
		社会貢献
		地域交流
		青少年育成

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
施設連携 本牧V	【目的】 公共施設はもとより、知っているようで知らない（気が付いていない）本牧の魅力を多方面から探ります。	5.9.11.3月
	【内容】 本牧が誇る歴史的・文化的資源である「三溪園」地元一円の総鎮守「本牧神社」「近隣小学校」など座学と散策を取り混ぜて実施します。	
		地域交流
		異世代交流
		生涯学習
		継続事業

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
施設連携 2020年市庁舎移転 記念地区センター3館 共催事業	【目的】 横浜市花「薔薇」をテーマに各地区センターが様々な切り口で講座を持ち廻りで実施します。	10月
	【内容】 薔薇をモチーフに写真・絵画・手芸・工芸を企画。	地域交流 緑化事業 生涯学習



事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域・施設連携 つながる本牧 つなげる未来へ ライトアッププロジェクト	【目的】 神奈川県無形民俗文化財「お馬流し」の兼行に合わせて実施。地域の伝統ある行事に参加する意識を高め、未来への願いを込めて子どもたちと街の一体感を育みます。	7月～8月
	【内容】 「お馬流し」を知らない子どもたちも多く、地域の施設・八聖殿郷土資料館館長から本牧神社について説明頂き、よりお祭りを身近に感じてもらえるようペットボトルランタンワークショップを行います。	異世代交流 地域交流 青少年育成




事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域・施設連携 本牧かぼちやまつり	【目的】 地域の商店が主体となり、本牧の歴史に新たなお祭りが生まれ回を重ねています。本牧らしさをアピールするとともに街への愛着も深めます。	10月 関連事業3回
	【内容】 10月初旬からパビリオンショーケースに魔女の飾り付け・館内装飾を施し雰囲気盛り上げます。最終土曜日に、衣装&スタッフ「本牧かぼちやまつり」を開催。当館では関連事業（料理教室・菓子作りやマスコット作り）を実施し雰囲気盛り上げます。またスタッフ当日はスタッフ拠点として参加します。	地域交流 異世代交流



事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域・施設連携 落葉清掃ボランティア & 焼き芋焼けた	【目的】 本牧山頂公園はじめキャンプ場管理スタッフの協力の基、落葉拾い・焚火・焼き芋・ゲーム・工作等を行い、自然の中で地域の子どもたち・親子の交流を深めます。	12月第1土曜日 1回
	【内容】 地区センターから本牧山頂公園キャンプの出来る広場に落葉拾いをしながら向かいます。集めた落ち葉を釜にくべ焼き芋を作ります。焼けるまでボーイスカウトの主導で野外遊び（ゲーム）を楽しみます。深まりゆく秋を感じる事業です。	子育て支援 地域交流 環境保全事業 青少年育成



事業名	目的・内容等	実施時期・回数
新企画 地域・施設連携 山頂公園に蝶 (アサギマダラ)を 呼ぼうプロジェクト	【目的】 翅の模様が鮮やかな大型のチョウで、長距離を移動する「旅する蝶（アサギマダラ）」を山頂公園に！を目標に食草や生態を知り身近な自然の実態と維持を再確認。	通年
		社会貢献
		地域交流
【内容】 蝶の生態や食草の学びの講義は当館で。食草の整備や育成は山頂公園で。それぞれの施設の特性を生かし長期的な計画でアサギマダラを呼ぶプロジェクトを始動します。	環境保全事業	

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
なかく街の先生 オープン講座	【目的】 なか区民活動支援センターとの調整の元、人材ボランティアの活躍の場の提供。区民への周知を図ります。	3回
		シニア支援
	【内容】 様々なジャンルで登録されている人材を活用し、多様な体験のきっかけ作りを実施。	生涯学習
		団塊デビュー
		青少年育成

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域・施設連携 なか区スタンプラリー	【目的】 多くの方に中区内の施設を知っていただく。スタンプラリーで来館された方に当館をもっと知って利用いただく機会にします。企画段階から積極的に参加しより成果のある企画に協力します。	7月～8月
		地域交流
	【内容】 スタンプラリーで来館された新規の来館者に対し当館のPR企画を実施します。	継続事業
		異世代交流
		青少年育成

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域・施設連携 なか区ブックフェスタ	【目的】 中区読書推進事業の協力を得てH28にスタート。本離れが進む今だからこそ本に出会い・触れる機会を中区から。	10月～11月
		継続事業
	【内容】 「本」をキーワードに「絵本の読み聞かせとコンサート」「絵本作り」等 多様な仕掛けで「本」に親しむきっかけ作りを提供します。	異世代交流
		青少年育成

横浜市本牧地区センター自主事業計画書

団体名 株式会社 清光社

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数(人)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費(円)		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
伝統伝承プログラム 茶道教室 初めてのお茶	一般						
	10						
	8,000	96,000	16,000	80,000	60,000	30,000	6,000
伝統伝承プログラム 書道教室 小筆で年賀状	一般						
	10						
	1,200	16,000	4,000	12,000	10,000	5,000	1,000
伝統伝承プログラム 詩吟教室	一般						
	10						
	1,000	14,000	4,000	10,000	10,000	3,000	1,000
マネー講座 Let'sマネササイズ	一般						
	15						
	500	11,500	4,000	7,500	5,000	5,000	1,500
マネー講座 税務相談 相続等	一般						
	20						
	0		0	0	0	0	0
マネー講座 親子マネー講座	幼児から小学生と保護者						
	20						
	0	0	0	0	0	0	0
本牧ノスタルジア	一般						
	30						
	1,000	42,000	12,000	30,000	20,000	10,000	12,000
レディース脳トレ麻雀	一般 女性						
	12						
	5,000	70,000	10,000	60,000	50,000		20,000
手芸講座 各種	一般						
	70						
	1,500	105,000	0	105,000	30,000	75,000	
料理教室 みゆき先生の幸せレシピ	一般						
	140						
	1,500	210,000	0	210,000	100,000	100,000	10,000
料理教室 老いない身体を作る四季の 薬膳	一般						
	55						
	1,500	85,000	2,500	82,500	40,000	40,000	5,000
料理教室 薬膳 入門	一般						
	20						
	1,500	35,000	5,000	30,000	20,000	10,000	5,000
料理教室 粉こね倶楽部	一般						
	28						
	1,000	42,000	14,000	28,000	20,000	20,000	2,000

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数(人)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費(円)		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
料理教室 粉こねクラブ	小学生・未就学児と親子						
	30						
	1,000	63,000	33,000	30,000	30,000	30,000	3,000
料理教室 男の料理教室	一般 男性						
	20						
	1,500	35,000	5,000	30,000	20,000	10,000	5,000
料理教室 料理で国際交流	子ども～一般						
	20						
	1,000	21,000	1,000	20,000	10,000	10,000	1,000
料理教室 味噌作り	子ども～一般						
	15						
	3,000	60,000	15,000	45,000	10,000	45,000	5,000
東京2020オリパラ 応援企画 体験ポッチャ	どなたでも						
	50						
	100	10,000	5,000	5,000	0	5,000	5,000
東京2020オリパラ 応援企画 パブリカを踊ろう	どなたでも						
	50						
	0	15,000	15,000	0	10,000	0	5,000
子育て支援 親子で始める予防歯科	赤ちゃんから幼児と保護者						
	20						
	0	5,000	5,000	0	0	0	5,000
風のみち 巨大鯉のぼりに食べられ ちゃった!	幼児と保護者・小学生						
	50						
	300	45,000	30,000	15,000	20,000	20,000	5,000
親子でリトミック	1歳児・2.3歳児と保護者						
	120						
	500	86,000	26,000	60,000	60,000	20,000	6,000
子育て相談	未就学児と保護者						
	240						
	0	0	0	0	0	0	0
ママフィットネス (同室保育付き)	産後のママ						
	30						
	2,000	95,000	35,000	60,000	45,000	0	50,000
ヴォイストレーニング	一般						
	900						
	500	495,000	45,000	450,000	450,000		45,000
ヴォイストレーニング ワタシの十八番をワンランクアップ	一般						
	12						
	3,000	55,000	19,000	36,000	50,000		5,000
ヴォイストレーニング 喉を鍛えて声を出す	一般						
	12						
	3,000	55,000	19,000	36,000	50,000		5,000

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数(人)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費(円)		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
健康づくり講座 心地よい眠りにつための レッスン	一般						
	15						
	1,000	16,000	1,000	15,000	10,000	5,000	1,000
健康づくり講座 体験講座 (ゆる体操・シニアフィットネス・元 気ダンス)	一般						
	20						
	500	16,500	6,500	10,000	15,000	0	1,500
健康づくり講座 コアフィットネス	一般						
	30						
	500	22,000	7,000	15,000	20,000		2,000
横浜みどりアップ計画 市民 が森に親しむきっかけづくり	企画によって詳細決定						
		0	0	0			0
成人向け教養講座 古典文学に親しむ	一般						
	30						
	2,000	71,000	11,000	60,000	60,000	5,000	6,000
成人向け教養講座 国際交流	一般						
	30						
	500	20,500	5,500	15,000	5,000	15,000	500
季節の寄せ植え	一般						
	20						
	2,000	40,000	0	40,000	0	40,000	
お片付けセミナー& 終活セミナー	一般						
	30						
	1,000	33,000	3,000	30,000	30,000		3,000
幼児から小学生向け講座 夏休み 科学の力でアイスクリーム	幼児から小学生						
	20						
	300	21,000	15,000	6,000	10,000	10,000	1,000
幼児から小学生向け講座 夏休み 工作教室	幼児から小学生						
	20						
	300	10,500	4,500	6,000	5,000	5,000	500
幼児から小学生向け講座 体験マジック	小学生から						
	18						
	500	21,000	12,000	9,000	10,000	10,000	1,000
幼児から小学生向け講座 お絵描き教室	幼児から小学生						
	10						
	300	6,500	3,500	3,000	5,000	1,000	500
本牧地区センターまつり	どなたでも						
	2,000						
	50	140,000	40,000	100,000	40,000	50,000	50,000
地区センターまつり フリーマーケット	一般						
	15						
	1,000	15,000	0	15,000			15,000

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数(人)	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費(円)		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
防災・減災 いざという時に備えて	子どもから大人						
	50						
	500	42,000	17,000	25,000	20,000	20,000	2,000
活動団体協力事業 コンサート	小学生から一般						
	300						
	100	30,000	0	30,000			30,000
活動団体協力事業 おもちゃの病院	一般						
	30						
	0	12,000	12,000	0	10,000		2,000
活動団体協力事業 おはなし会・読み聞かせ	子どもから一般						
	150						
		24,000	24,000	0	20,000	2,000	2,000
施設連携 本牧V	一般						
	20						
	500	15,400	5,400	10,000	10,000	5,000	400
施設連携 中区地区センター 3館共催事業	一般						
	10						
	3,000	38,500	8,500	30,000	8,000	30,000	500
地域・施設連携 つながる本牧 つなげる未来へ ライトアッププロジェクト	一般						
	100						
	0	10,000	10,000	0		5,000	5,000
活動団体・地域・施設連携 作品展示・文化祭	どなたでも						
		5,000	5,000	0		5,000	0
地域・施設連携 山頂公園に蝶(アサギマダラ)を 呼ぼうプロジェクト	一般						
	30						
	500	16,000	1,000	15,000	10,000	5,000	1,000
地域・施設連携 焼き芋焼けた	一般						
	50						
	300	20,000	5,000	15,000		20,000	
地域・施設連携 本牧かぼちゃまつり	どなたでも						
	200						
		15,000	15,000	0		12,000	3,000
なか区民活動センター連携事業 なか区街の先生オープン 講座	子どもから大人						
	30						
		10,000	10,000	0		10,000	0
施設連携事業 なか区スタンプラリー	どなたでも						
	200						
		3,000	3,000	0		3,000	0
施設連携 なか区ブックフェスタ	どなたでも						
	30						
	300	14,000	5,000	9,000	10,000		4,000
合計		2,454,400	554,400	1,900,000	1,418,000	696,000	340,400

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

令和2年度 「本牧地区センター」 収支予算書兼決算書
(2020/04/01～2021/03/31)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	21,955,000		21,955,000		21,955,000	横浜市より
利用料金収入	3,186,000		3,186,000		3,186,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,900,000		1,900,000		1,900,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	1,017,800	0	1,017,800	0	1,017,800	
印刷代	179,000		179,000		179,000	
自動販売機手数料	607,200		607,200		607,200	
駐車場利用料金収入			0		0	
その他（広告ラック収入・預金利息）	231,600		231,600		231,600	
収入合計	28,058,800	0	28,058,800	0	28,058,800	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	20,788,000	0	20,788,000	0	20,788,000	
給与・賃金	18,561,000		18,561,000		18,561,000	館長・副館長及び時給職員16名
社会保険料	1,299,000		1,299,000		1,299,000	
通勤手当	744,000		744,000		744,000	常勤職員・時給職員
健康診断費	184,000		184,000		184,000	常勤職員・時給職員
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
事務費	994,020	0	994,020	0	994,020	
旅費	5,000		5,000		5,000	出張旅費
消耗品費	96,000		96,000		96,000	事務消耗品費
会議贈い費	40,000		40,000		40,000	
印刷製本費	90,000		90,000		90,000	
通信費	360,000		360,000		360,000	電話代・郵送料等
使用料及び賃借料	122,380	0	122,380	0	122,380	
横浜市への支払分	122,380		122,380		122,380	目的外使用料等
その他	0		0		0	
備品購入費	60,000		60,000		60,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	40,000		40,000		40,000	
職員等研修費	2,000		2,000		2,000	
振込手数料	16,100		16,100		16,100	
リース料	149,040		149,040		149,040	
手数料	3,500		3,500		3,500	
地域協力費	10,000		10,000		10,000	地域イベントの協力費等
事業費	2,454,400	0	2,454,400	0	2,454,400	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	2,454,400		2,454,400		2,454,400	
自主事業費			0		0	
管理費	603,480	0	603,480	0	603,480	
光熱水費	56,000	0	56,000	0	56,000	
電気料金	56,000		56,000		56,000	自販機電気使用料(中図書館)
ガス料金	0		0		0	
水道料金	0		0		0	
清掃費	0		0		0	
修繕費	470,000		470,000		470,000	
機械警備費	0		0		0	
設備保全費	77,480	0	77,480	0	77,480	
空調衛生設備保守	7,480		7,480		7,480	ウォータークーラー水質検査
消防設備保守	0		0		0	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	70,000		70,000		70,000	ごみルート回収、廃棄他
共益費	0		0		0	
公租公課	1,916,900	0	1,916,900	0	1,916,900	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,916,900		1,916,900		1,916,900	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費	240,000	0	240,000	0	240,000	
本部分	240,000		240,000		240,000	労務・経理等の本部経費割掛分
当該施設分			0		0	
ニーズ対応費	1,062,000	0	1,062,000	0	1,062,000	
支出合計	28,058,800	0	28,058,800	0	28,058,800	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		